



2012-13

週報



パワー浜松ロータリークラブ事務局
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2
オークラアクティホテル浜松4307号室
Tel/Fax 053-452-0800

Email info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp
創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日
認証伝達式/2003年4月29日
スポンサークラブ/浜松中RC



RIテーマ「奉仕を通じて平和を」会長/田中作次(八潮RC)
2620地区のテーマ「クラブは自ら活性し、お互いのつながりを実感しながらロータリーを伸展させよう」
ガバナー/高野孫左エ門(甲府RC)
パワー浜松RCのテーマ「固く結ぼう心の絆、分かち合おう総ての仲間と」会長/小澤邦比呂

第 487 回例会 5月28日(火)AM 7:00~8:30

オークラアクティホテル浜松4階平安の間

■司会: ■点鐘:小澤邦比呂 ■ロータリーソング;
■ゲスト:ルトガー・メイヤーさん

出席

90名中63名70.0%
前々回修正出席率70.0%

会長挨拶

ロータリアンの皆さん、おはようございます。先週は鈴木康友浜松市長をお迎えして浜名湖RCさんとの合同例会でした。大変楽しく愉快に過ごした2時間でした。ご出席ありがとうございました。

さて、私事ではありますが5月5日は母の命日、そして5月9日は父の命日でした。私の祖父母の命日は2月8日と8月12日であります。身内の命日はこの4回です。私は年に最低8回墓参りに行きます。春夏の彼岸、12月30日と1月1日我が家の恒例になっています。最近、「お年寄りを大切にしましょう」という言葉をあまり聞かなくなったような気がします。小さい頃私はやんちゃをし、いたずらをするごとに母親から「お前は橋の下から拾ってきたんだよ。うちには本当は出来の良い長男がいたんだよ。」と。兄は先に亡くなったそうですが、何かあるたびに甦る記憶です。私たちの小さい頃はいただき物は仏壇に供えるなど、何かことあるごとにそういった宗教的につけの中で育ったような気がします。お線香をあげる、お墓参りに行くということが子供たちにも伝えるに大切な環境になっている気がします。しかし、毎日の生活の中で先祖を大切にするという事を伝えていかなければならないと思います。

こういう話を聞きました。ある果物屋の店先から、子供がりんごを二つ盗んで走り去りました。店主は追いかけてきました。『こらっ』子供はリスのように路地に入り曲がりくねり、信号が赤でも青でも渡ってただひたすら逃げました。見えつ隠れつするうちに子供はお寺の門をくぐりました。お寺に入っていきとその子供が一つの墓の前で、盗んだりんごをシャツで拭きお供えしていました。何をしているのかな?隠れて食べるんじゃないのかな?果物屋の店主は子供の背後に行き肩をたたきました。「ぼうず何してんだ?」驚いた子供は言いました。「うちの母さんはりんごが好きだったんだ。」店主は「そうかそんなに母さん父さんはりんごが好きだったのか?本当はお前を捕まえて突き出そうと思ったけどこのりんごお前にあげるよ。だけど、きつとかわい息子にお供えしてもらいたかったと思うけど、果たして父さんも母さんも盗んでまでお供えしてほしかったのかな?」といろいろと説教をしました。「このりんごはお前にあげるんだから盗んだりんごではないんだよ。しっかりとお供えをしなよ。」と言ってその場を離れました。店主は今日はいいいことをしたなど満足していましたが寺の門でふと立ち止まりました。「そういえばあの子はりんごを盗んでまで親の墓をした。しかし自分はいつ墓参りをしたろうか?」とても思い出せないことにふと気づきました。逆に子供に反省させられ、教えられた気分になったそうです。

私たちは部屋が汚ければ掃除をします。きっとお墓はしばらく行かなければ鳥の糞が墓石についており、お供えしている花は枯れ、草も生えきつと住みよくない環境になることでしょう。私たちが今あるのは当然両親また祖父母またその前の先祖がいるからです。



私たちはこうして今好きな時間を好きな時に使っています。なにも墓参りは彼岸に行く必要はありません。365日いつ行ってもいいわけです。私はいつも墓参りの帰りに「また来るからね」と声をかけます。すると「また来てくれよ。待ってるからね。がんばれよ。」いつもそういった声が聞こえます。皆さんはいかがですか。お墓参りというものをふくめて子供たち孫たちに伝えるべき環境を作ることが今の時代にいかに大切かということが私は大変必要なことだと思います。以上です。

幹事報告

- ①本年度中に事務局の清掃を行いますので私物がある方はお持ち帰りください。
- ②2590地区川崎中原RCの小泉様より連絡がありました。パワーをまねてモーニング例会を実施しています。皆様よろしくとのことでした。
- ③本日例会中に各テーブルを写真撮影に回ります。
- ④本日例会終了後、理事会を開催します。
- ⑤次週例会は職業奉仕PJの担当で京丸園の鈴木厚志社長をお迎えしてお話をいただきます。



スマイル報告

村松孝泰保焼津ロータリークラブ会長エレクト

先週参加させて頂きありがとうございました。卓話も引き受けて頂きありがとうございます。

坂井光蔵さん

鹿児島県の知覧特攻平和会館に行ってきました。ゴルフもやってきました。4月からの宮崎・ハワイ・カナダ・ドイツ・鹿児島の旅も終了しました。これからは仕事にロータリーに頑張ります。

原田道子さん

アパートの空室対策として100万円の助成金が受けられるセミナー開催いたします。

その他

諸星圭吾次年度幹事

7月の例会を各部会で計画して頂き、理事会で承認を頂きました。例会内容を事前に告知してやっていきますので7月の例会は、今週もしくは来週中に内容をお知らせお願いいたします。





2012-13

第487回例会
5月28日(火)
議事事項



パワー浜松ロータリークラブ事務局
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2
オークラアクティシティホテル浜松4307号室
Tel/Fax 053-452-0800

Email info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp
創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日
認証伝達式/2003年4月29日
スポンサークラブ/浜松中RC



R1第2620地区青少年留学生

***** ルトガー・メイヤーさん卓話 *****



今日のスピーチはこれまでの経験したことについてです。日本に来てからもう9ヶ月になりました。その間で色々な良いことと悪いことが起こったから、そのためにパワーポイントを作りました。パワーポイントの名前は「少年の夢」で、なぜなら、この交換は私が中学校の時から抱いている夢です。そしてスピーチの最後の部分は日本の文化とベルギーの文化を比較してみたいと思います。でも、もちろんこれは全部私の意見だから、現実と間違っていることがあるかもしれません。特にベルギーと日本の文化の問題について話です。

まずは、ベルギー人の抱く日本の既成概念の話です。ベルギー人に『日本はどんな国ですか?』と聞けば、ほとんど皆は、“真面目”と“厳しい”を言うと思います。真面目といえそれは間違いないと思います。たしかに日本の高校生はちょっと子供っぽいですが、勉強と部活の場合で皆は急にすごく真面目になることができるし、一生懸命で自分の目標を達成します。でも、毎日一生懸命で働くのはストレスの原因です。だから、大分の日本人は外国へ働きに行くと思います。あとは、日本人の厳しさです。外国人に対しては日本の社会はけっこう厳しいと思います。問題は日本でいろいろな言っていないルールと慣習があります。そしてそのルールは外国人にあまり説明されていません。だからそのルールを知らない外国人にしては、日本に住むことが、難しいかもしれません。

次は、私の印象です。その印象は今まで経験した生活とあまり違いません。もし去年ベルギーで『日本の印象はどうですか?』と聞かれたら、私の答えは4つの言葉から成り立ちました。まず「自然と科学技術」と「昔と現在」。そして、この前に言ったように日本に来てからその印象はあまり変わっていません。ベルギーに比べて、たしかに日本の街はもっと大きくて人々がたくさん住んでいます。でもそれに対して日本では自然もたくさんあります。そしてそのうえに日本人がその自然を尊敬して守っています。さらに神道と仏教によると自然は尊敬しないわけにはいかないものです。そしてほかの日本について好きなことは日本の昔の文化と現代の文化の共存です。自然のように日本人はどこでも昔の生活や慣習などを尊敬しています。たしかに社会が変わったら、その社会の慣習も変わるかもしれないけど、日本ではみなはその昔のことを守っているのはすごいと思います。たとえば先祖を尊敬することか元旦に神社に行くことなどです。

11月は他の地区の留学生と初めて会い、ロータリーの旅行で広島や京都などに行きました。その旅行で一番感動したことは広島の博物館でした。日本に来る前に高校で広島市と原爆について勉強したことがあるけど、高校のときはその事件の意味がまだ分かりませんでした。広島市の博物館に行って、人々の痛みと苦しみを見たら、誰でも泣きたくないと思います。だから、『どうして』人々はお互いに苦しみを分かち合おうとします。それで、今までその武器がこの世界で存在しているのは恐れを引き起こします。私にとって頭がおかしい人だけその物を持っています。この旅行は4日間だけでしたが、その時に友達をたくさん作りました。

あとはロータリーのスキートリップがありました。まずは私とLeonieが車で甲府まで行ってKateと会ってバスに乗り換えました。全部のスキートリップは3日間ありました。1日目はちょっと遅く到着したため2時間くらいスキーができました。その夜は例会とパーティーがありました。2日目は午前9時くらいから午後4時まで滑り、ホテルに帰ってから温泉に入りました。食後に愛知県の留学生がすごく長い例会があったから私とLeonieとKateは特別な温泉に行き、温泉から帰って他の留学生と一緒に遊んだり話しながらお茶を飲んだり、また温泉に入ったりしました。次の日はもう最後の日で、皆が早く起きて朝ご飯を食べて家に帰りました。確かにスキートリップは楽しかったけど、私にとってちょっと短すぎたと思います。

そして今からはベルギーと日本の問題について話したいと思います。ベルギーに行ったときに一番イライラしたことはベルギーの少年です。最近ベルギーの子供たちはちょっと無礼と誰にも感謝しなくなり、もちろん私の世代もそのような子がいましたけど、最近はいっそう増えてきたと思います。最近の子は先輩たちや両親や老人をあまり尊敬しなくなったのはちょっと悲しいと思います。

次は私にとっての日本の問題です。確かに日本の社会は厳しくて速いです。皆が時間に追われているみたいで休みがありません。だから日本の生活はすごくストレスが多い生活だと思います。私は留学生として日本に来たからストレスがあまりないと思っていましたが、日本人を見ているだけでもストレスを感じます。だからベルギーと日本はお互いに学べることもあると思います。ベルギーの場合ではもっとほかの人を尊敬したほうがいいと思います。もし他の人を知らないとしても、その人を尊敬しないでいいという意味ではありません。この前は広島の平和に関する会議に出席しました。その会議のモットーは“平和は自分から始まります”でした。だから、平和を作るためにお互いの尊敬が必要だと思います。

それで日本人がやるべきことはリラックスすることだと思います。なぜなら、仕事と収入より健康と家族のほうが重要です。皆が命をひとつだけ持っているから、生きるあいだに人生を楽しむべきです。そしてそのために皆が時間に追われないほうがいいと思います。例えば、もしこの政界で時計や時間がなければどうだと思いますか。皆が自分の好きなことを好きな時にできるし、仕事で期限がないんです。そういう世界に住んでみたいと思いませんか。

***** ロータリー友情交換 ***** 担当：新世代奉仕PJ

＜八田峰夫R12620地区国際奉仕委員会 委員長＞

仲秋さんが、快く受け入れていただきました。ご本人から報告してもらいます。次年度も行うとの話がありますので、興味のある方は参加していただきたいです。行先はハリウッド・サンタモニカ・ディズニーワールドです。

＜仲秋篤志 会員報告＞

友情交換プログラムで、第5280地区のロサンゼルス市のロータリークラブと我々第2620地区のロータリークラブ間で、メンバー同士のホームステイを行いました。ロサンゼルス市の鈍度ビーチロータリークラブから、シーフィー夫妻が4月の第1週に私たちの家に来て頂き、4/27～5/3まで私たち夫婦がシーフィーさん夫妻の家にホームステイさせて頂きました。

シーフィー夫妻は2人ともロータリアンです。ジムは以前海軍に勤められていて船のレーダー等の設計関係の仕事をしていました。その後民間企業に転職され、現在は退職されています。アレクシスは高校教員の仕事をされて、その後校長先生として3校歴任しました。安倍総理も留学していたUSC(南カリフォルニア大学)を卒業しており、博士号も取得しているそうです。現在は退職されています。お二人は旅行が趣味で、既に70カ国以上旅をしているそうです。日本は初めてで、ホームステイする前に、東京・箱根・伊勢・京都・奈良などに観光で訪れたとのことでしたので、今回は、浜松の色々な文化を体験して頂こうと考えました。4月第1週はちょうど桜が満開の時期だったので、花見もかねて龍潭寺に行きました。庭園や寺内を見学しお茶席も体験して、その足で竜ヶ岩洞にも行き、鍾乳洞も見て頂きました。竜ヶ岩洞の庭には立派な満開の桜の木があり、記念写真をたくさん撮りました。パワー浜松ロータリークラブのメンバーでも、伊藤勝さんが着物を、金山土洲さんが書道を、仕事で扱っているのでお店やアトリエにお伺いさせて頂き、日本の代表的な文化を体験しシーフィー夫妻には大変喜んでいただきました。浜松ロータリーの例会にも参加させて頂き、パナー交換とジムにスピーチもさせて頂きました。4月末には私達夫婦が、レドンドビーチのシーフィー夫妻のお宅にホームステイさせて頂き、レドンドビーチの橋樑、ビバリーヒルズ、ロデオドライブ、ディズニーランド等、有名な観光スポットに連れて行っていただきました。レドンドビーチのロータリークラブにも出席させて頂き、パナー交換もさせて頂きました。市の人口が約7万人、ロータリークラブは1つでメンバーは約60人だそうです。同クラブのロータリアンでバスターガバナーであるベッキーさん宅でのホームパーティーに妻と参加しました。参加者の1人に現在アメリカで働いている日本の女性がいました。彼の夫が以前ロータリーのプログラムでベッキーさん宅にホームステイをした経緯で、今でも付き合いが続いているとの事です。

友情交換のプログラムは、お互いの文化を体験するだけでなく、異国でも友情が生まれる素晴らしいプログラムだと感じました。今回の体験は、私達夫婦にとって非常に素晴らしいものになりましたし、シーフィー夫妻との友情も私達夫婦にとって大切なものになりました。

